

「平和のために」

読谷中学校一年 玉那覇 佐弥

皆さんは戦争が何でいけないか、考えたことはありますか。私達は小学校でたくさんの平和学習をしてきました。六月の平和学習では、体験者の人達から話を聞いたり、また、チビチリガマ、シムクガマ、又チシ又ジガマなど、いろいろな所で学習したりしました。戦争がおきると、罪もない人が死んでしまったり、昔はあやまった教育を受けて、集団

自決をした人々がたくさんいたことなど、いろいろなことを学びました。私は大人になっても沖縄戦のことを忘れないために一年に一度はきちんと沖縄戦について考えないといけないと思います。今、私達が沖縄戦について学習できているのは、体験者のおかげだと思えます。体験者の人達が一番理解していて、戦争はいけないと分かっているから私達のために平和学習として伝えに来てくれるのです。でもこうやって体験者の

人達の話の話を聞けるのも少なくなりまして。そう  
すると、戦争への関心が減ると思います。今  
は、おじいちゃん、おばあちゃんがいるから、  
六月二十三日の慰霊祭が各地で開かれたり、  
多くの参加者もいたりします。でも、おじい  
ちゃん、おばあちゃんが亡くなると戦争を知  
らない私達は、戦争について考えるのも減り、  
もしかしたら何十年後同じあやまちが起きる  
かもしれない。それを防ぐために私達は体  
験者の人達の話の話を聞かないといけません。  
で

も人間というのには寿命があり、戦争体験者は  
いなくなつてしまふ日がきます。でも、体験  
をしていない私達でも伝えることはできます。  
私はこういう事ができる日本にしてほしいで  
す。戦争とは、知らない人が知らない人を殺し  
ます。例えば、殺人事件で見知らぬ人が殺さ  
れるのと同じ事だと思ひます。戦争は、知ら  
ない人を何とも思わないうで殺す人もいまし  
た。この人達は、戦争というものがなければ、殺

す人も殺される人もいませんでした。

私は、戦争をなくすために、国と国が互い

に競争するのは大切だと思います。しかし、

相手を尊重することを忘れてはいけないと思

います。

沖縄は、戦争があつた地だから、戦争の学

習をたくさんしたり、平和学習とかもありま

す。でも本土の人達はあまり関心や興味がな

いと思ひます。なぜかという、本土で大雨

や大洪水が起きてても、私達沖縄の人は大変だ

としか思わなかつたから、身近に起きないと

人は危機感をもたないと思ひました。東京や

本土の一部は、戦争の跡が身近にないので、

実際に見ることでも学ぶこともできないと思ひ

ます。でもそれではいけません。戦争が起き

たのは日本全体の責任で、日本軍は本土の人

もたくさんいました。身分の高い人の考えで

起こつた戦争だから、もちろん沖縄だけの問

題ではないです。沖縄の人がどんなに頑張っ

ても上の人が戦争すると決めたら意味があり

ま  
せ  
ん  
。戦  
争  
は  
人  
の  
心  
に  
忘  
れ  
る  
こ  
と  
の  
で  
き  
な  
い  
悲  
し  
み  
を  
残  
し  
ま  
す  
。だ  
か  
ら  
私  
は  
、戦  
争  
を  
日  
本  
の  
問  
題  
と  
し  
て  
も  
っ  
と  
考  
え  
て  
い  
き  
た  
い  
で  
す  
。